

人間総合学群 住空間デザイン学類							
氏名	三宅 貴之	職名	講師	専攻分野	都市計画	学位名	博士（工学）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>●研究論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アクセシビリティと受療割合から見た二次医療圏の評価に関する研究—栃木県の二次医療圏を事例として」『日本建築学会計画系論文集』79(702)、2014年（共著） ・「地域特性からみた医療アクセスの格差に関する研究」『日本建築学会計画系論文集』81(727)、2016年（共著） ・「商店の凝集性からみた谷地形と都市活動分布の関連について」『日本都市計画学会都市計画報告集』No. 17, 2018年（共著） ・「医療計画策定のための県域での医療実態調査」『日本公衆衛生雑誌』66(2)、2019年（共著） 							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p>●研究論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「商店の凝集性からみた谷地形と都市活動分布の関連について」『日本都市計画学会都市計画報告集』No. 17, pp. 71-76, 2018年（共著） ・「医療計画策定のための県域での医療実態調査」『日本公衆衛生雑誌』66(2)、pp. 96-106、2019年（共著） <p>●研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の配置と診療時間からみた医療資源の地域偏在についての分析—栃木県を事例として、2018年度日本建築学会大会、東北、2018.09.（共著） ・キャプション評価法による来街者視点からの景観資源の発掘—さくら市景観ガイドライン策定支援のための実践的研究その1、2018年度日本建築学会大会、東北、2018.09.（共著） ・景観の構成要素と印象の相関からみたガイドライン指針の検討—さくら市景観ガイドライン策定支援のための実践的研究その2、2018年度日本建築学会大会、東北、2018.09.（共著） ・A study on the future arrangement of ophthalmology facilities that paid attention to population change of elderly people in Japan, 51st Asia Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) Conference, Bangkok (Thailand), 2019.09.（共著） ・地方における公共交通と自家用車のアクセス分析、2020年度日本建築学会大会、関東、2020.09.（単著） ・医師数と診療時間からみた外来キャパシティに関する分析、第80回日本公衆衛生学会総会抄録集、2021.12.（単著） ・漁村集落における空き家の発生要因と住民意識に関する研究、2022年度日本建築学会大会、北海道、2022.07.（単著） ・VR と HMD を用いた街路空間のシークエンス評価手法に関する研究—歩行者の視線と印象に着目した丸の内仲通りにおける実験—、日本建築学会関東支部研究報告集, 93, pp. 301-304, 2023.03.（共著） 							

●社会的活動

- ・2012年4月～現在 日本建築学会
- ・2015年4月～現在 日本都市計画学会
- ・2017年6月～現在 日本公衆衛生学会
- ・2018年6月～現在 多摩ニュータウン学会 評議員